

山名	鶴見岳～伽藍岳縦走	CL	鎗水	SL	福岡
日程	25年6月8日(土)	気象	晴れ	報告者	鎗水
参加者：鎗水、林、佐原、中野、酒井(オープン) 福岡、山下、下釜、今泉(佐賀労山)、直塚(佐賀労山) 高森、田中、久保(元)、久保(陽)、岩永 合計 12+3 名					
経			費		
収 入			支 出		
会員	@ 4,500 × 12 名 = 54,000	バス代	43,000	謝礼	3,000
オープン	@ 5,000 × 1 名 = 5,000	高速	6,950	保険	1,350
オープン	@ 4,500 × 2 名 = 9,000 (佐賀労山)	ロープウェイ	9,750	その他	672
合計	68,000	合計	64,722		
68,000 - 64,722 = 3,278 オレンジ基金へ					
行程・所要時間					
(往) 6:20 諫早駅裏 → 6:30 西諫早駅 → 8:30 九重IC → 9:30/9:40 別府ロープウェイ → 9:50/10:10 鶴見岳 ～10:32 馬の背 → 11:32 鞍ヶ戸 → 12:00/12:28 花の台(昼食) → 12:34 新道・船底分岐 1班：13:41 船底新道分岐 → 14:34 西登山口 → 14:46 由布岳東登山口 → 15:00 塚原温泉 2/3班：12:50 船底 → 13:15 内山 → 14:20 塚原越 → 14:41 伽藍岳 → 15:20 塚原温泉					
(復) 16:00 塚原温泉 → 18:50 西諫早駅(予定より1時間早い)					
登山概要					
1. 梅雨時ながら雨の心配もなく、ミヤマキリシマ、ベニドウダン、ヤマボウシなど満開、自然林の木陰が涼しく、すがすがしい山行であった。					
2. 参加者 15 名(佐賀労山 2、オープン 1)で 3 班編成にし、1 班はゆっくり組、2,3 班は縦走組とした。					
3. 時間的な配分よりロープウェイで鶴見岳まで登り、そこから伽藍岳までの尾根縦走とした。 馬の背～鞍ヶ戸～花の台までは全員一緒に行動し、そこで 1 班と 2,3 班は分かれた。 鞍ヶ戸までは危険は感じないが、比較的狭い尾根が続き途中ロープやハシゴのある険しい箇所もあり。					
4. 1 班は鶴見岳の中腹の船底新道を引き返すように新道分岐～西登山口～由布岳東登山口に下山。 新道はトラバースにつき比較的楽であったが、分岐から西登山口までは荒れた涸れ沢を 2 度渡ったりでかなり厳しい下りであった。					
5. 2,3 班は船底～内山～塚原越～伽藍岳往復～塚原温泉と縦走したが、内山からの下りが長く、かつ黒土で滑りやすく苦労した。					
6. 全班とも予定時間より早く下山できたため、久々に 19:00 前に諫早に帰着できた。					
概 念 図		問 題 点・反 省 点			
次ページ		今回は時間配分、班編成、コースの取り方など比較的適切であったと感じる。長時間の登りがなく、低い方への縦走で疲れが少なかったと思うが、危険箇所はそれなりにあり、結構腕を使わなければならない所もあり、翌日腕や肩が痛くなった人がいたのではないだろうか。日頃の全身鍛錬が必要では？			